




小学5年 日本音楽とともだちになろう

【音の構成と醸し出す雰囲気との関わり】

日本には、郷土に伝わるお囃子や民謡をはじめ、人々によって昔から守られてきたさまざまな音楽がある。日本音階は、わらべうたや手遊びだけでなく、歌謡曲の中でも使われていることに気づくことで、日本の音楽により親しみを感じることができようと考えた。そして、日本の音階を使った旋律づくりで、音楽の仕組みを生かし、使うリズムや旋律の音の上がり下がりの組み合わせを試しながら、まとまりのある旋律になるように工夫を重ねる。協働しながらつくる活動を通して、日本の音階のよさを感じるとともに、つくった旋律を演奏する楽しさを味わうことができるよう、次の実践を行った。

<学習活動の実際> (6時間完了)

時	○ 学 習 活 動
I	<p>目標：日本の音階の特徴を理解し、日本の音階の旋律が生み出すよさや面白さに気づく。</p> <p>○聴きなじみのある6曲を聴き、ジャムボードを使って仲間分けをする。(低学年で習った曲や歌謡曲などを入れて提示。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>明るい曲は長調だから、長調と短調に分ければいいかな。</p> <p>民謡(昔)と歌謡曲(今)に分けたらどうかな。</p> <p>何となく日本っぽいような気がしたから和(日本)と洋(外国)かな。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 日本っぽい 春の海 パプリカ 子もり歌 うさぎ </div> <div style="margin: 0 10px;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 外国っぽい ロンドン橋 きらきら星 </div> </div> <p>○この4曲が日本らしく感じるのはどうしてなのか、秘密(共通点)を楽譜からを見つける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>「うさぎ」の楽譜を見ると、ファとシがありません。</p> <p>「パプリカ」も「子もり歌」にもないです。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 60%;"> <p>ほんただ。どれにもないね。もう1回聴きたい！</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <p>そんなの、たまたまじゃないの？</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <p>この4曲は、どの曲も「ドレミソラ」の5つの音しか使ってないことが、日本らしさと関係あるのかな。</p> </div>

2 目標：旋律の音の上がり下がり工夫し、2小節の旋律をつくることができる。

○5つの音で旋律（2小節）をつくる。（デジタル教科書を活用）

●「使うリズム」と「終わりの音」を選び、音符を動かして旋律をつくりましょう。

終わりの音は、この3つを使うと終わった感じになるんだね。

音の上がり下がり工夫してみたよ。真ん中で下がるようにしたよ。これが、一番好き。

5音でつくと、本当に日本っぽい音楽ができたよ。



3 目標：作った旋律の順序を変えたり繰り返したりして、まとまりのある日本の旋律をつくることができる。

4 ○友達のつくった旋律とつなげて、まとまりのある旋律をつくる。



聴いてみると、思っていた曲と雰囲気がちがった。ちょっと順番を変えてみよう。




音の上がり下がりをもろえてみよう。繰り返しを使ったら、まとまった感じになったね。結構、簡単につくれるんだ。

5 ○選んだ3音を伴奏として繰り返し、つくった旋律と重ねる。
 (デジタル教科書を活用して伴奏の3音を選ぶ。)

「ミラシ」の3音を繰り返すだけなのに、伴奏がつくとカッコいいな。

3音で伴奏ができるのが、おもしろいね。



6 目標：つくった音楽を演奏したり聴いたりして、日本らしい旋律を味わう。

○発表会を開いて、聴き合う。



曲をまとまりのあるように作るのはたくさんの工夫が必要で、なかなか難しいです。他の班の旋律は、自分たちとは全く違う音で、8小節だけでもたくさんの楽器が使えるんだと思います。ヨナ抜き音階を使えば日本風の曲ができたので、歌の中でヨナ抜き音階を使っているものを調べて自分たちの曲と比べてみたいです。

同じはんの人とつなげてみて、とても楽しかったです。友達が作ったメロディーが聞きたい、みんな練習して、上手に合わせられたし、よかったのでとてもうれしかったです。パート分けをしていたはんや、よみかけと答えをしているはんがあって、すごかったです。いろんな曲が見れたし、くれたのでよかったです。



友達と一緒につくって、楽しかったよ。旋律や伴奏は違うけど、どの班もみんな日本っぽい音楽ができた。つかっている音で曲の感じが決まるんだ。

<省察>

五音音階が歌謡曲にも取り入れられていることを知り、五音音階を使用したいいくつかの曲の聴き比べをしたところ、「何となく似た雰囲気がある」という感想をもつ児童がいた。また、五音音階を使って各班でつくった旋律をつなげたときにも、「さくらさくらっぽい感じがする」という声が聞かれた。これは、音の構成と旋律の雰囲気を関連付けて学習したことで、曲が醸し出す日本らしい雰囲気が、音階と深く関係しているということに気づくことができたからであると考えられる。今後も日本音楽特有の音楽に親しめるような題材を見つけていきたい。